

## 患者力を引き出す作業療法 in 北海道 - 認知作業療法 -

企画者名：認知作業療法研究会（代表：大嶋伸雄 東京都 SIG, 研究会申請中）

講師名：大嶋伸雄（首都大学東京大学院人間健康科学研究科）

2013年に本研究会が発足して以降、各地域においてすでに 600名以上の作業療法士さん達が認知作業療法の研修会に参加されています。本研究会の中核技術である認知的技法、行動的技法の臨床応用とパワーは無敵大です。日記、ノート、写真、予定表、ADL自己評価・・・そして“作業療法カウンセリング”が患者さんの心と行動を変化させ、自身のより良い生活のために自助できる患者さんに生まれ変わります。修得が難しいだけに一度身につけたら“スーパー作業療法士”の誕生です。

認知作業療法の主な理念は以下の3つです（領域に関係はありません）。

- ① 身体障害領域でも精神面を診る、精神障害領域でも身体面を診る。
- ② 身体機能や ADL の改善などのボトムアップアプローチと、目標（活動）設定などのトップダウンアプローチを並行して行う。
- ③ 最終的には「自分で自分を管理できる self-help patient」になれるように支援する。

そのために、対象者が自分の身体や状況をどのように捉えているか、認知しているのかを会話の中で、“作業療法カウンセリング”の言語システムを用いて共有していきます。そして、対象者の「気づきと意欲」を引き出すために認知行動療法で用いられるような認知的技法や行動的技法など様々な方法を用いて双方向的な関わりを行います。

Facebook ページ：<https://www.facebook.com/jafcot/>

〈認知作業療法研究会・関連書籍〉

今回、茨城県以北の東北・北海道では初めての開催となります。

皆様方とワークショップでお会いできる事を楽しみにしております。

認知作業療法研究会



PT・OT・STのための認知行動療法ガイドブック  
ーリハビリテーションの効果を高める  
2015/7/14  
大嶋伸雄



患者力を引き出す作業療法ー認知行動療法の応用による身体領域作業療法 2013/5/1  
伸雄, 大嶋



臨床が変わる! PT・OTのための認知行動療法入門 2014/4/18  
ダナヒー、マリー、デヴィッドソン、グレイ

障害をもった患者さんの  
心理を安定させながら  
行動変容を促し、  
生活環境と役割を維持・改善  
させる“作業療法士”とは  
生活（活動）と心理の専門職！



自助患者（Self help patient）を作る作業療法士